

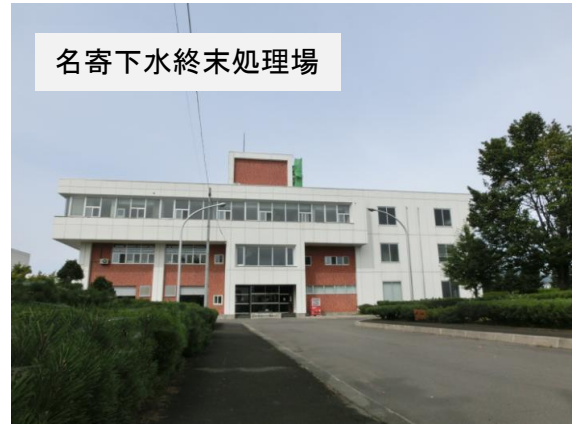
1. 下水道事業の沿革

※平成26年度現在

- 建設着手年月日 名寄：昭和46年 風連：平成5年
- 供用開始年月日 名寄：昭和55年 風連：平成9年
- 処理区域内人口 25,051人（普及率87.2%）
- 水洗化人口 24,195人（水洗化率 96.6%）
- 年間総処理水量 5,336,617m³
- 管渠延長 196Km
 - 合流管 43Km
 - 污水管 130Km
 - 雨水管 23Km

○主な施設

- 名寄下水終末処理場 処理能力：12,960m³/日
- 風連浄水管理センター 処理能力： 893m³/日



名寄下水終末処理場

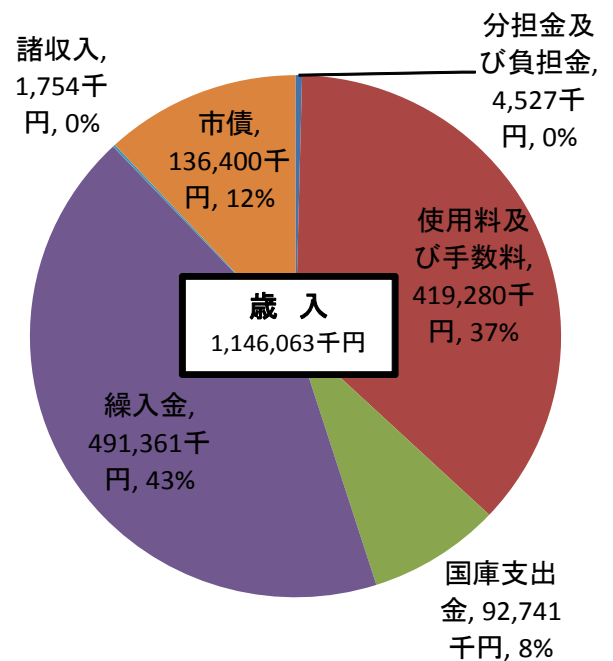
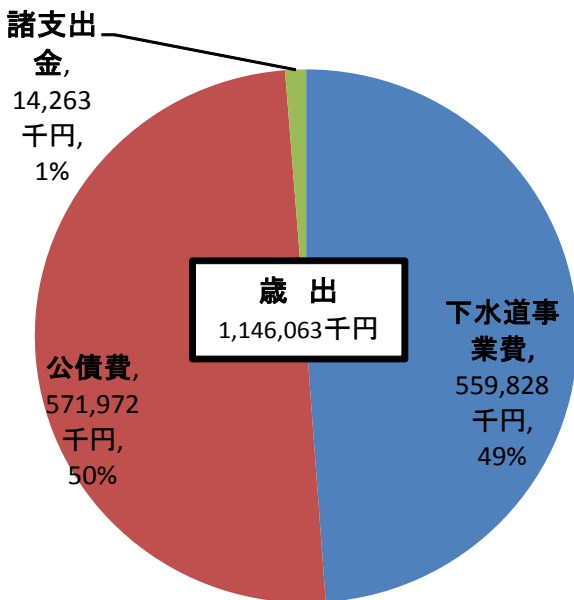


風連浄水管理センター

2. 平成26年度の決算状況

歳入歳出総額は1,146,063千円となり、歳出では下水道事業費（施設整備や維持管理にかかる費用）と公債費（借金を支払う経費）が半々となっています。

歳入では、使用料及び手数料（下水道使用料などです）が全体の4割、財源不足を補う繰入金で4割となっています。



3. 平成26年度の主な事業内容

(1) 名寄下水終末処理場内沈砂池設備外更新工事

事業費: 124,200,000円
概要: 除塵機更新 2台
整備時期: 昭和52年(37年経過)
耐用年数: 15年

処理場に雨水と一緒に入ってくるごみ・砂をすきとる機械の更新工事です



(2) 昭和通道路改良舗装・雨水管渠整備工事

事業費: 49,293,930円
概要: 管径1,500~1,350mm 延長110m
整備時期: 今回新設
耐用年数: 50年

北斗団地の住宅整備に併せて、雨水管渠を新設し雨などによる浸水を防ぎます



(3) 公共樹設置工事

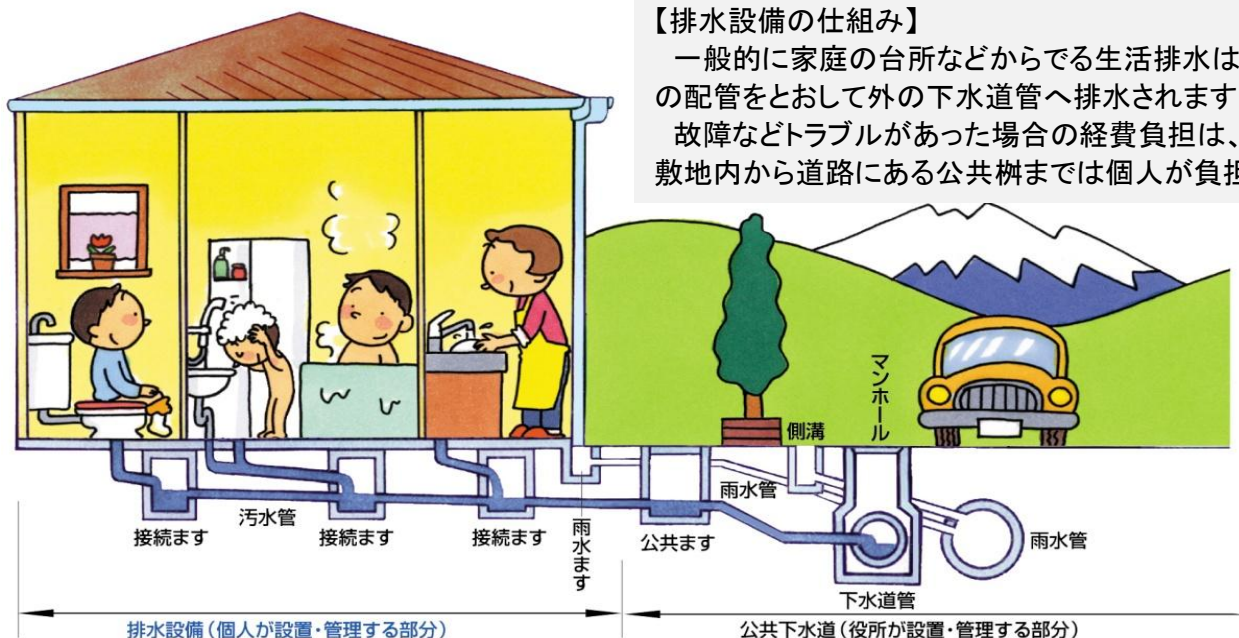
事業費: 3,021,840円
概要: 9基新設
整備時期: 今回新設
耐用年数: 50年

家庭などの排水設備を下水道管へつなぐための施設のひとつです



【排水設備の仕組み】

一般的に家庭の台所などから出る生活排水は、家の中の配管をとおして外の下水道管へ排水されます。故障などトラブルがあった場合の経費負担は、家や家の敷地内から道路にある公共柵までは個人が負担します。



(4) 人孔斜壁破損箇所修繕

事業費: 9,842,108円
概要: 97件

管渠・マンホール・公共柵などの下水道施設が壊れた場合に緊急的に修繕します

※人孔(じんこう)= マンホールのことです



(5) 下水道管閉塞解除等

事業費: 1,287,563円
概要: 50件

排水に含まれる油や土砂などにより下水管が詰まる(閉塞)と、排水は流れなくなるのでバキューム(くみ取り)や高圧洗浄により油などを除去します。

